FUYO information Vol.13

第42期決算のご報告

2010年4月1日▶2011年3月31日

芙蓉総合リース株式会社

証券コード●8424

グループのビジネス・フィールド

Changes into Chances

変化を、チャンスに。

変化する経済環境、社会環境にあって、ビジネスもまた、絶え間ない変化を求められています。
芙蓉総合リースグループはこの変化を好機として、お客様の経営・財務戦略を迅速に、柔軟にサポートしています。
リースを中心にレンタルや割賦販売、ファイナンスなど多岐にわたるフィールドが、
最適なソリューションを創造します。
これからも、創造と革新の精神でフィールドを拡げ、
お客様にベスト・アンサーを提供してまいります。

芙蓉総合リース（株）

国内連結子会社（15社）

芙蓉オートリース（株）
日本抵当証券（株）
（株）エフ・ジー・エル・サービス
（株）芙蓉リース販売
（株）アクア・アート
（株）エフ・ネット
（株）ワイ・エフ・リーシング
シャープファイナンス（株）
エフジージャスティスリーシング（有）
エフシーイールドリーシング（有）
エフジーガンマリーシング（有）
エフアイフラワーリーシング（有）
一般社団法人有楽町ファンディング
合同会社有楽町ファンディング
（有）大井町LBファンディング

海外連結子会社（15社）

Fuyo General Lease（USA）Inc.
Fuyo General Lease（Canada）Inc.
Fuyo General Lease（HK）Ltd.
Fuyo General Lease (Asia) Pte. Ltd.
FGL Aircraft Ireland Limited
FGL Aircraft Ireland No.1 Ltd.
FGL Aircraft Ireland No.2 Ltd.
FGL Aircraft Ireland No.3 Ltd.
FGL Aircraft Ireland No.4 Ltd.
FGL Aircraft Ireland No.5 Ltd.
FGL Aircraft Ireland No.6 Ltd.
FGL Aircraft Ireland No.7 Ltd.
A320 Aircraft Leasing Ⅷ Corp.
FGL Maritime Panama S. A.
FGL Sunrise Panama S. A.

持分法適用会社（4社）

横河レンタ・リース（株）
（株）東神ジェネラルクリエイト
（株）日本信用リース
FMC AVIATION LIMITED

（注）2011年3月末現在のグループ会社です。

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本年3月の東日本大震災により、被災されました皆様には、心からお見舞い申し上げます。

ここに、芙蓉総合リース株式会社第42期決算の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当期は、「2008年度～2010年度中期経営計画」の最終年度に当たり、次期中期経営計画に向けての基盤づくりを徹底的に進めるべく、営業基盤の強化･拡充とともに、生産性･効率性向上の追求に取り組んでまいりました。

その結果、当期の連結業績は、売上高4,084億8千万円（前期比6.9%増）、営業利益250億8千9百万円（前期比15.4%増）、経常利益270億9千6百万円（前期比14.6%増）、当期純利益134億6千6百万円（前期比17.8%増）と、いずれも前期実績を上回ることができました。

当期の期末配当につきましては、1株当たり31円とさせていただきました。

今後の経済見通しにつきましては、海外経済は新興国・資源国における高成長が見込まれるものの、国内経済は東日本大震災の影響により経済活動の減速が懸念されるなど、厳しい状況が予想されます。

このような状況の下、当社グループは2011年度を初年度とする新中期経営計画「2011年度～2013年度中期経営計画」を策定し、4月よりスタートしております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
佐藤　隆

CONTENTS

グループのビジネス･フィールド …… 1
ごあいさつ …… 2
芙蓉総合リース(FGL)グループのサービス･ラインナップ …… 3
中期経営計画 …… 5
当期の経営成績（連結） …… 7
連結財務諸表（要約） …… 9
単体財務諸表（要約） …… 13
グループ会社紹介 …… 14
TOPICS …… 15
株主優待制度のご案内 …… 16
営業拠点 …… 17
会社の概況・株式の状況 …… 18

芙蓉総合リース（FGL）グループのサービス・ラインナップ

リース

●ファイナンス・リース

FGLが設備を購入し、その設備をお客様に一定期間賃貸するため、一時期に多額の出費をせずに最新の機械設備をご使用いただけます。コストコントロール、管理事務の軽減等のメリットにより、お客様の効率的な設備投資と経営に貢献しています。

●オペレーティング・リース

FGLが物件の中古価値をあらかじめ見積もり、リーズナブルなリース料を設定します。投資コストの軽減が図れるとともに会計上、オフバランス処理が可能となります。

●省エネ設備リース

お客様の省エネルギー対策に対して、リース・ファイナンスを軸にトータルサポートしています。サプライヤー様におけるお客様へのご提案もサポートいたします。

●PC Eco & Value リース

パソコンのリユースを促進するためのリースサービスです。エコノミー＆エコロジーを追求したパソコンのリーススキームです。

●オートリース

自動車購入時に発生する税金・保険・メンテナンス等の煩雑な管理業務をアウトソーシングできる付加価値の高いリース取引です。FGLグループの芙蓉オートリースが、クルマに係わるすべての業務をトータルサポートしています。

販売促進リース

●芙蓉ファーストリース（FFL）＆販売促進リース

芙蓉ファーストリース（FFL）は、各種機械設備の販売会社様向けに、リースのお申込みから審査・契約手続きまで、簡易で迅速な仕組みをご提供する取引です。各種機械設備の販売会社様の販売活動をリース・ファイナンスのご提供によりサポートいたします。

不動産リース

●建物リース

FGLが事業用借地権付建物を所有し、お客様に賃貸する取引です。商業用建物や物流倉庫などの建物に適したリーススキームです。

●保証金（敷金）預託システム＆スペースリース

保証金等の流動化により固定化資金をコントロールし、多店舗展開を支援しています。スペースリースでは、お客様（テナント）に代わりFGLが保証金（敷金）をビルオーナー様に差入れ、お客様の少額資金での出店、資金の効率的な利用の実現に貢献しています。

レンタル

●パソコン＆ネットワーク機器レンタル

パソコンレンタルは、最新のパソコンを短期で使用したいというお客様向けにご提供するレンタルシステムです。「ネットワークの進化が早すぎて機器の性能がついていかない」とお悩みのお客様には、ネットワーク機器レンタルをご提供しています。

●計測器レンタル

FGLグループの横河レンタ・リースが、計測・制御機器を最小コストでご提供しています。「品質第一」をモットーに、高度な技術力と万全なサポート体制で対応いたします。

●アクア・アート

アクア・アートは、快適なオフィス環境やリラクゼーションの場を創出するインテリア水槽のレンタルです。見る人の心をリラックスさせ、温かみのあるオフィス環境を実現します。

割賦販売

FGLが機械設備を購入し、お客様に分割払いで販売する取引です。税務上、リースに適さない物件や所有を希望される物件についてご提供しています。

ファイナンス

事業資金や設備資金のファイナンスをはじめ、不動産関連や新エネルギー分野の事業者様向けファイナンス、船舶リース・ファイナンスなど、お客様の様々なニーズに対応した、幅広いファイナンスサービスをご提供しています。

投資・生命保険

FGLでは、お客様に投資していただくための航空機オペレーティング・リースの組成業務や、信用力の高い国内外の生命保険会社の商品のご提供を通じて、お客様の経営安定化をお手伝いします。

ソリューション

●ソリューションビジネス

お客様の問題点・ニーズを顕在化させるコンサルティングを行い、リース・ファイナンス機能をフル活用した財務戦略ソリューションをご提供しています。

●海外進出企業サポート

お客様の海外進出をFGLが長年培った豊富な経験とノウハウに基づいて、リース・ファイナンス面からサポートします。

その他サービス

●契約情報提供・資産管理サービス

Webによるデータ提供サービス「FLOW」「ネットリーシング」にてお客様との契約に関する基本情報を無償でご提供しています。また、「FLOW」ではお客様との契約に関する様々な情報やリース資産管理情報も無償でご提供しています。

●会計資料提供サービス

リース会計基準に対応した会計資料を無償でご提供しています。「ＦＬＯＷ」では帳票形式／データ形式でご提供しています。

●物件関連サービス

FGLグループのエフ・ネットでは、お客様の重要なデータが社外に流出することがないよう、有償でデータの上書き消去サービスをご提供しています。また、芙蓉リース販売ではリースアップ物件を適正に処理することを通じて、環境3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進しています。

中期経営計画（2011年度～2013年度）

4月より新中期経営計画がスタートしました。
新中期経営計画に掲げる目指す会社像の実現と目標の達成に真摯に取り組んでまいります。

中期的な経営戦略及び対処すべき課題

3年後に目指す会社像を『お客様に選ばれるFGL！』とし、それを実現するための戦略を設定しております。
（FGL：当社名英語表記“Fuyo General Lease Co., Ltd.”の略称）

目標とする連結経営指標

逆風の環境下でも安定した業績・業容を堅持し、持続的な成長を続けることを展望し、計画の最終年度における目標を右記のとおり設定しております。

	2011年3月期 実績	2014年3月期 目標
(1)営業資産残高	14,330億円	15,200億円
(2)株主資本	1,086億円	1,440億円以上
(3)自己資本比率	6.7%	8.5%以上
(4)ROA(注)	1.6%	1.7%以上

(注) ROA=総資本経常利益率

事業戦略

●リース事業の強化

〈「強化・差別化」を図る分野〉〈「育成・挑戦」する分野〉〈「堅守・前進」を目指す分野〉を明確に設定してマーケットの状況に応じた施策により更に強化してまいります。

強化・差別化
- コア・コンピタンスの確立
- 付加価値サービスの強化

育成・挑戦
- 成長期待分野の取組強化
- 事業領域の拡大

堅守・前進
- 確立された営業基盤の更なる強化

●ファイナンス事業の再構築

ファイナンス事業を当社グループの安定した収益事業の柱として確立することを目指します。この戦略の一環として、当社の連結子会社で不動産ファイナンス事業を主業務とする日本抵当証券(株)を2012年4月1日付で吸収合併いたします。

●海外事業展開の推進

日系企業取引をターゲットに内外連携の更なる強化、アライアンスの構築に取り組み、北米、アジアにおける海外事業を積極的に推進してまいります。

●グループ戦略の強化

シャープファイナンス(株)、横河レンタ・リース(株)及び芙蓉オートリース(株)など、グループ各社との連携を一層強化し、マーケット開拓、サービス機能強化などを図ってまいります。

経営戦略

●企業価値の向上

財務基盤の充実・強化、資金調達力の向上、業務運営の効率化、内部統制・コンプライアンスの徹底などの諸課題を遂行するとともに、企業価値向上につながるブランド戦略・広報戦略の強化にも取り組んでまいります。

●システム戦略

将来想定されるIFRS対応や、顧客サービスに関わるシステムサポートの充実など、システム戦略の更なる強化を図るとともに、当社グループの事業を支える情報基盤の整備を推進してまいります。

●人材戦略

当社グループの未来を創る人材を育成し、グループの人材を積極的に活用する組織風土を確立します。

当期の経営成績（連結）

■ 当期の概況

当期における我が国経済は、円高や資源価格高騰による影響を受けながらも、海外経済の高成長に支えられて回復基調で推移しておりましたが、2011年3月11日に発生した東日本大震災により状況は大きく変化しました。

被災地域における資本設備の損壊に加えて、電力供給の制約や材料・部品調達難などサプライチェーンの障害も発生しており、当面は国内経済に下押し圧力がかかる状況にあります。

社団法人リース事業協会統計によるリース取扱高は、底入れの兆しが見られたものの本格的な回復には至らず、リース業界における経営環境は、依然厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループでは、「2008年度～2010年度中期経営計画」に掲げた「グループ経営力を強化し、環境変化に打ち勝つ企業基盤を構築する」、「安定した業績と成長性を確保し、ステークホルダーから高い評価を得る」、「CSRを重視し、コンプライアンスの徹底と強い人材の育成を図る」という基本方針の下、計画最終年度における総仕上げと次期中期経営計画に向けた基盤づくりに取り組んでまいりました。

この結果、当期の契約実行高は前期比1.8%増加の5,348億8千5百万円となり、当期末の営業資産残高（割賦未実現利益控除後）も前期末比255億5千4百万円（1.8%）増加して1兆4,329億4千6百万円となりました。

損益面では、売上高は前期比6.9%増加の4,084億8千万円、営業利益は前期比15.4%増加の250億8千9百万円、経常利益は前期比14.6%増加の270億９千６百万円、当期純利益は前期比17.8%増加の134億6千6百万円となりました。

なお、東日本大震災による損失の発生に備え、貸倒引当金繰入額33億5百万円及び売上原価8千2百万円を計上しております。

■セグメントの業績

当期におけるセグメントの業績は次のとおりであります。

●リース及び割賦

リース及び割賦の契約実行高は前期比0.5％増加して4,601億4千5百万円となり、営業資産残高は前期末比2.4%増加して1兆1,560億6千7百万円となりました。リース及び割賦の売上高は前期比7.3%増加して3,925億1千1百万円となり、セグメント利益は前期比29.0%増加して284億9千5百万円となりました。

●営業貸付

営業貸付の契約実行高は前期比8.9%増加して733億3千9百万円となり、営業資産残高は前期末比0.7%減少して2,707億6千万円となりました。営業貸付の売上高は前期比0.6%減少して79億2千3百万円となり、セグメント利益は前期比80.2%減少して5億4千6百万円となりました。

●その他

その他の契約実行高は前期比255.6%増加して14億円となり、営業資産残高は前期末比17.5%増加して61億1千8百万円となりました。その他の売上高は前期比0.7%減少して80億4千6百万円となり、セグメント利益は前期比12.3%増加して45億2百万円となりました。

■次期の見通し

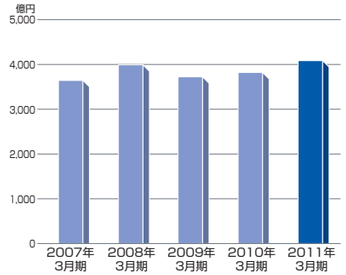
今後の経済見通しにつきましては、海外経済は新興国・資源国における高成長が見込まれるものの、国内経済は東日本大震災の影響により経済活動の減速が懸念されるなど、厳しい状況が予想されます。2011年度後半には復興需要が設備投資を下支えする動きが出てくると推測されますが、国内経済・民間設備投資が力強く回復し、リース取扱高がプラス成長に転じるにはなお時間を要すると認識しております。

このような状況の下、当社グループは2011年度を初年度とする新中期経営計画「2011年度～2013年度中期経営計画」を策定し、4月よりスタートいたしました。「2011年度～2013年度中期経営計画」に掲げる諸施策を着実に遂行することにより、目指す会社像の実現と目標の達成に真摯に取り組んでまいります。

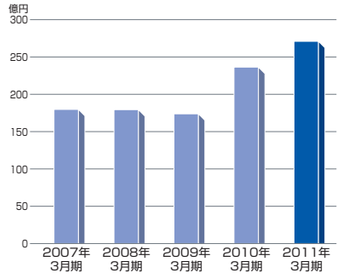
2012年3月期の連結業績予想につきましては、売上高4,200億円（前期比2.8%増）、営業利益255億円（同1.6%増）、経常利益275億円（同1.5%増）、当期純利益140億円（同4.0%増）を見込んでおります。

主な経営指標（連結）

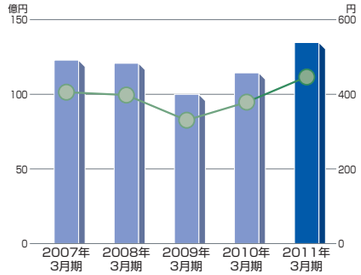
■ 売上高



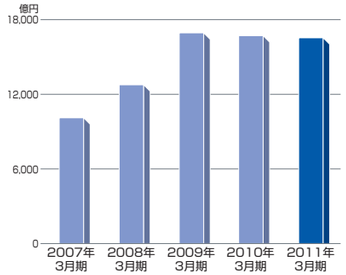
■ 経常利益



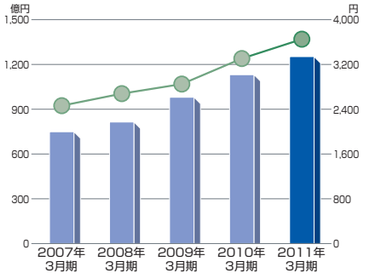
■ 当期純利益　● 1株当たり当期純利益



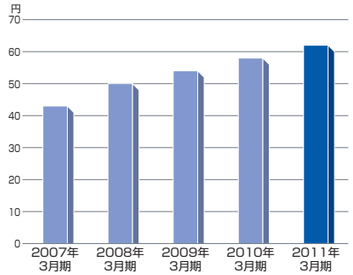
■ 総資産



■ 純資産　● 1株当たり純資産



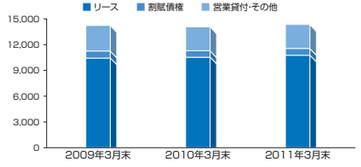
■ 1株当たり年間配当金



連結財務諸表（要約）

営業資産残高の状況

（単位：億円）



	2009年3月末	2010年3月末	2011年3月末
リース	10,436	10,536	10,766
割賦債権	824	758	795
営業貸付・その他	2,975	2,780	2,769
営業資産残高合計	14,235	14,074	14,330

（注）割賦債権は割賦未実現利益を控除した金額

当期末の営業資産残高は、リースが前期末比230億円増加したことを主因に、全体では前期末比256億円（1.8%）増加し、1兆4,330億円となりました。

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 2010年3月31日現在	当連結会計年度 2011年3月31日現在
資産の部		
流動資産	**1,434,907**	**1,363,479**
現金及び預金	78,595	31,408
割賦債権	78,059	81,534
リース債権及びリース投資資産	942,859	904,042
営業貸付金	246,988	240,505
その他の営業貸付債権	24,157	27,137
営業投資有価証券	5,205	6,118
その他の営業資産	9,046	3,877
賃貸料等未収入金	31,511	31,871
繰延税金資産	3,815	4,630
その他	24,042	43,415
貸倒引当金	△9,375	△11,062
固定資産	**236,023**	**290,488**
有形固定資産	**110,852**	**171,906**
賃貸資産	109,560	170,693
賃貸資産	107,512	170,468
賃貸資産前渡金	2,048	225
社用資産	1,291	1,212
無形固定資産	**12,940**	**11,679**
賃貸資産	3,244	2,095
賃貸資産	3,244	2,095
その他の無形固定資産	9,695	9,583
のれん	7,954	7,544
その他	1,741	2,039
投資その他の資産	**112,231**	**106,903**
投資有価証券	45,040	43,670
破産更生債権等	19,468	8,290
前払年金費用	764	865
繰延税金資産	903	629
その他	46,717	53,828
貸倒引当金	△663	△381
資産合計	**1,670,931**	**1,653,967**

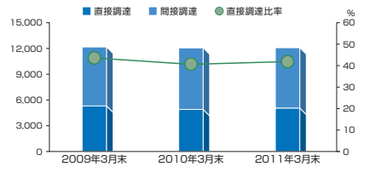
（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 2010年3月31日現在	当連結会計年度 2011年3月31日現在
負債の部		
流動負債	**1,231,949**	**1,180,454**
支払手形及び買掛金	50,084	44,370
短期借入金	371,101	355,451
1年内返済予定の長期借入金	139,104	113,021
コマーシャル・ペーパー	291,600	335,600
債権流動化に伴う支払債務	28,200	23,600
1年内支払予定の債権流動化に伴う長期支払債務	50,553	52,844
リース債務	227,347	197,612
売渡抵当証券	45,359	28,513
割賦未実現利益	2,235	2,073
その他	26,361	27,368
固定負債	**325,892**	**348,273**
社債	—	10,000
長期借入金	205,794	233,587
債権流動化に伴う長期支払債務	74,636	55,618
繰延税金負債	1,697	1,952
その他	43,763	47,114
負債合計	**1,557,841**	**1,528,728**
純資産の部		
株主資本	**96,955**	**108,561**
資本金	10,532	10,532
その他	86,423	98,029
その他の包括利益累計額	**3,069**	**1,972**
新株予約権	**201**	**327**
少数株主持分	**12,862**	**14,378**
純資産合計	**113,089**	**125,239**
負債純資産合計	**1,670,931**	**1,653,967**

調達の状況

（単位：億円）



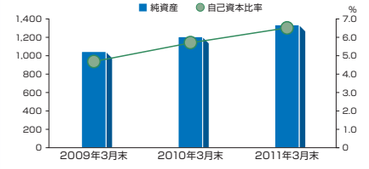
	2009年3月末	2010年3月末	2011年3月末
直接調達	5,310	4,903	5,062
間接調達	6,860	7,160	7,021
有利子負債残高合計	12,169	12,064	12,082
直接調達比率	43.6%	40.6%	41.9%

（注）残高はリース債務を除いております。

当期末の調達残高は、前期末比19億円（0.2%）増加し、1兆2,082億円となりました。

純資産の状況

（単位：億円）



	2009年3月末	2010年3月末	2011年3月末
純資産	980	1,131	1,252
自己資本比率	5.1%	6.0%	6.7%

当期末の純資産は、利益剰余金が前期末比116億円増加したこと等から、前期末比121億円（10.7%）増加の1,252億円となりました。

連結財務諸表（要約）

連結損益計算書

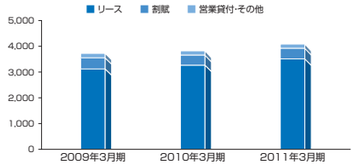
（単位：百万円）

科　目	前連結会計年度 自 2009年 4月 1日 至 2010年 3月31日	当連結会計年度 自 2010年 4月 1日 至 2011年 3月31日
売　上　高	382,042	408,480
売 上 原 価	333,488	355,011
売 上 総 利 益	48,553	53,468
販売費及び一般管理費	26,811	28,379
営　業　利　益	21,742	25,089
営 業 外 収 益	2,746	2,808
受取利息及び配当金	744	877
持分法による投資利益	467	516
そ　の　他	1,534	1,414
営 業 外 費 用	852	800
支 払 利 息	671	556
そ　の　他	180	244
経　常　利　益	23,636	27,096
特 別 利 益	619	680
特 別 損 失	3,650	273
税金等調整前当期純利益	20,605	27,503
法人税、住民税及び事業税	8,233	12,535
法 人 税 等 調 整 額	△ 460	△ 225
少 数 株 主 利 益	1,399	1,727
当　期　純　利　益	11,432	13,466

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

売上高の状況

（単位：億円）

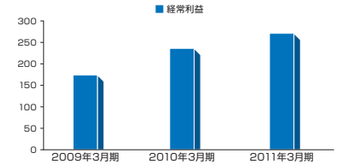


	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期
リース	3,120	3,267	3,511
割賦	433	393	414
営業貸付・その他	170	161	160
売上高合計	3,723	3,820	4,085

当期の売上高は、新規契約実行が堅調に推移し、営業資産残高も増加したリースが牽引し、全事業合計では前期比6.9%増加して4,085億円となりました。

経常利益の状況

（単位：億円）



	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期
経常利益	174	236	271

当期の経常利益は、売上の増加に伴う差引利益の拡大に加え、資金原価の低減などにより、前期比14.6%増加して271億円となりました。

連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

科　目	前連結会計年度 自 2009年 4月 1日 至 2010年 3月31日	当連結会計年度 自 2010年 4月 1日 至 2011年 3月31日
株主資本		
資本金		
前期末残高	10,532	10,532
当期変動額合計	–	–
当期末残高	10,532	10,532
資本剰余金		
前期末残高	10,416	10,416
当期変動額合計	–	–
当期末残高	10,416	10,416
利益剰余金		
前期末残高	66,413	76,216
剰余金の配当	△ 1,629	△ 1,870
当期純利益	11,432	13,466
自己株式の処分	–	△ 0
当期変動額合計	9,803	11,595
当期末残高	76,216	87,811
自己株式		
前期末残高	△ 209	△ 209
自己株式の取得	△ 0	△ 0
自己株式の処分	–	10
当期変動額合計	△ 0	10
当期末残高	△ 209	△ 198
株主資本合計		
前期末残高	87,152	96,955
剰余金の配当	△ 1,629	△ 1,870
当期純利益	11,432	13,466
自己株式の取得	△ 0	△ 0
自己株式の処分	–	10
当期変動額合計	9,803	11,605
当期末残高	96,955	108,561
その他の包括利益累計額		
前期末残高	△ 917	3,069
当期変動額合計	3,987	△ 1,097
当期末残高	3,069	1,972

（単位：百万円）

科　目	前連結会計年度 自 2009年 4月 1日 至 2010年 3月31日	当連結会計年度 自 2010年 4月 1日 至 2011年 3月31日
新株予約権		
前期末残高	93	201
当期変動額合計	108	125
当期末残高	201	327
少数株主持分		
前期末残高	11,684	12,862
当期変動額合計	1,178	1,515
当期末残高	12,862	14,378
純資産合計		
前期末残高	98,012	113,089
剰余金の配当	△ 1,629	△ 1,870
当期純利益	11,432	13,466
自己株式の取得	△ 0	△ 0
自己株式の処分	–	10
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	5,274	543
当期変動額合計	15,077	12,149
当期末残高	113,089	125,239

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科　目	前連結会計年度 自 2009年 4月 1日 至 2010年 3月31日	当連結会計年度 自 2010年 4月 1日 至 2011年 3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 597	△ 40,326
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,994	△ 4,482
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,333	△ 2,461
現金及び現金同等物に係る換算差額	72	△ 192
現金及び現金同等物の増減額	△ 18,853	△ 47,462
現金及び現金同等物の期首残高	97,372	78,514
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	△ 4	–
現金及び現金同等物の期末残高	78,514	31,051

単体財務諸表（要約）

貸借対照表

（単位：百万円）

科目	前事業年度 2010年3月31日現在	当事業年度 2011年3月31日現在
資産の部		
流動資産	887,844	836,450
固定資産	210,401	235,021
有形固定資産	85,581	103,015
無形固定資産	4,237	3,385
投資その他の資産	120,581	128,621
資産合計	1,098,245	1,071,472
負債の部		
流動負債	745,642	719,833
固定負債	271,543	259,563
負債合計	1,017,186	979,396
純資産の部		
株主資本	78,255	89,854
資本金	10,532	10,532
その他	67,722	79,322
評価・換算差額等	2,602	1,894
新株予約権	201	327
純資産合計	81,059	92,075
負債純資産合計	1,098,245	1,071,472

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

（単位：百万円）

科目	前事業年度 自 2009年 4月 1日 至 2010年 3月31日	当事業年度 自 2010年 4月 1日 至 2011年 3月31日
売上高	315,916	334,619
売上原価	287,972	303,175
売上総利益	27,943	31,443
販売費及び一般管理費	12,858	11,567
営業利益	15,085	19,876
営業外収益	1,542	1,753
営業外費用	807	737
経常利益	15,820	20,892
特別利益	739	1,133
特別損失	3,531	220
税引前当期純利益	13,028	21,804
法人税、住民税及び事業税	4,406	8,061
法人税等調整額	197	283
当期純利益	8,424	13,459

グループ会社紹介

株式会社アクア・アート

アクア・アート（AQUA ART）は、1996年7月、芙蓉総合リース100%出資で設立された「熱帯魚水槽」のレンタルサービス会社です。

アクア･アートは、本物の生きた魚達と水草により自然界の仕組みをそのまま水槽の中に再現させた、当社独自のアクアリウムレンタルシステムを提供しております。

首都圏を中心として北は仙台から西は神戸まで、企業の受付・待合スペース、医療機関や老人介護施設、児童施設などで約800台の水槽をご利用いただいております。

またCSR活動の一環として地元の幼稚園・保育園に毎年水槽の寄贈を続け、寄贈台数は10台となりました。水槽の中の自然は、そのまま環境教育の教材となっています。

アクア・アートのレンタルサービスを通じて見る人の心をリラックスさせ、温かみのある環境を実現し、人に、社会に、心安らぐ空間を提供できるよう努力してまいります。

アクア・アート（熱帯魚水槽）

会社概要

商　号　株式会社アクア・アート
本　社　〒103-0008
東京都中央区日本橋中洲6番9号
（林中洲ビル）
TEL 03(3666)1301(代)
FAX 03(3666)2839
代表者　取締役社長　関口　賢二
設　立　1996年7月
資本金　5,000万円
事業内容　熱帯魚水槽の製造･レンタル･メンテナンス
従業員　19名（2011年4月1日現在）

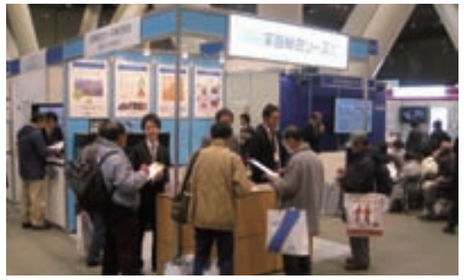
アクア・アート本社と搬入用トラック

メンテナンス作業

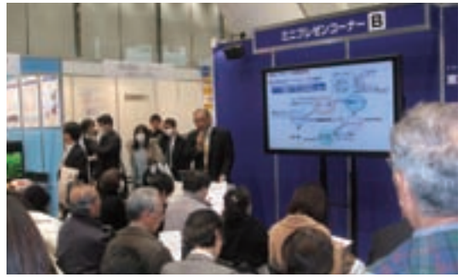
TOPICS

東証IRフェスタ2011へ出展しました

芙蓉総合リース（FGL）は、2011年3月11日に開催された個人投資家向けIRイベント「東証IRフェスタ2011」（主催：東京証券取引所）へ出展いたしました。会場となった東京国際フォーラムには上場企業等64社のブースが出展し、数多くの個人投資家の皆様にご来場いただきました。FGLのブースには400名超の皆様にお立ち寄りいただき、担当者が展示パネルを使って事業内容などをご説明いたしました。また、ミニ会社説明会ではスライドを使ってわかりやすい説明を心がけました。今後も様々な形で個人投資家向けIR活動を充実させてまいります。



FGLのブース



ミニ会社説明会

東日本大震災義援金を寄付しました

東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。FGLでは被災者の方々の救援や被災地の復興に役立てていただくために、義援金1,000万円を日本赤十字社へ寄付いたしました。また、FGLグループ役職員による社会貢献のための積立ファンド「芙蓉ハートフルファンド100」からの寄付や、役職員が新たに拠出した義援金の寄付も行いました。

◆格付け

当社が現在取得している格付けは次のとおりです。

●格付機関：株式会社日本格付研究所（JCR）

【長期優先債務】
格付け：**A**（シングルAフラット）　格付けの見通し：安定的

【発行登録債予備格付け】
予備格付け：**A**（シングルAフラット）
発行予定額：2,000億円
発行予定期間：2010年9月29日から2年間

【コマーシャルペーパー（短期）】
格付け：**J－1**
発行限度額：3,500億円

●格付機関：株式会社格付投資情報センター（R&I）

【発行体格付け（長期）】
格付け：**A－**（シングルAマイナス）　格付けの方向性：安定的

【発行登録債予備格付け】
予備格付け：**A－**（シングルAマイナス）
発行予定額：2,000億円
発行予定期間：2010年9月29日から2年間

【コマーシャルペーパー（短期）】
格付け：**a－1**
発行限度額：3,500億円

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、優待品の選択制導入および保有継続期間に応じた贈呈基準の新設により株主優待制度を拡充しました。

対象株主様：毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された1単元（100株）以上保有していただいている株主様

優待内容：「カタログギフト」または「図書カード」のどちらかの優待品をご選択いただきます。

【保有継続期間】2年未満　3,000円相当の優待品
2年以上　5,000円相当の優待品

*保有継続期間2年以上の確認は、2009年3月31日以降、毎年3月31日および9月30日の当社株主名簿に、同一株主番号で継続して5回以上記載または記録された対象株主様といたします。

贈呈時期：毎年6月の当社定時株主総会後の発送を予定しております。

3,000円相当のカタログギフト

（掲載写真は商品例の一部）

優待品は選択制

3,000円相当の図書カード

保有継続期間2年以上

5,000円相当のカタログギフト

（掲載写真は商品例の一部）

5,000円相当の図書カード

＜寄付制度＞
当社は社会貢献活動に取り組む団体等へ株主優待相当額の10%を当社から寄付する制度を導入しております。今回の寄付先については、東日本大震災に対する義援金として、日本赤十字社へ寄付することといたしました。

（注）あらかじめ定められた期間内に優待品をご選択いただけない場合、当社が選定した優待品をお届けいたします。

営業拠点（2011年6月24日現在）

● 国内

本社営業部	〒101-8380 東京都千代田区三崎町三丁目3番23号（ニチレイビル） TEL：03(5275)8800(代)　FAX：03(5275)8870
札幌支店	〒060-0003 札幌市中央区北三条西三丁目1番44 （ヒューリック札幌ビル7F） TEL：011(231)2071(代)　FAX：011(221)0327
東北支店	〒980-0021 仙台市青葉区中央一丁目6番35号 （東京建物仙台ビル19F） TEL：022(224)1321(代)　FAX：022(264)3108
新宿支店	〒163-0677 東京都新宿区西新宿一丁目25番1号私書箱4094号 （新宿センタービル37F） TEL：03(3344)3341(代)　FAX：03(3344)3335
池袋支店	〒170-0013 東京都豊島区東池袋一丁目10番1号 （住友池袋駅前ビル9F） TEL：03(3984)8101(代)　FAX：03(3984)8700
上野支店	〒110-0015 東京都台東区東上野一丁目11番4号 （ルート東上野ビル3F） TEL：03(3837)2431(代)　FAX：03(3834)2490
城南支店	〒141-0031 東京都品川区西五反田二丁目27番4号 （明治安田生命五反田ビル9F） TEL：03(3490)2401(代)　FAX：03(3490)2420
立川支店	〒190-0012 立川市曙町二丁目38番5号 （立川ビジネスセンタービル8F） TEL：042(521)2491(代)　FAX：042(521)2494
高崎支店	〒370-0841 高崎市栄町22番29号（ペヤングビル7F） TEL：027(327)2471(代)　FAX：027(327)2690
大宮支店	〒330-0802 さいたま市大宮区宮町一丁目114番1号 （ORE大宮ビル3F） TEL：048(645)7921(代)　FAX：048(645)7920
横浜支店	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町三丁目３２番地１３ （第2安田ビル3F） TEL：045(312)1557(代)　FAX：045(314)7154
新潟支店	〒950-0087 新潟市中央区東大通一丁目2番25号（北越第一ビル5F） TEL：025(244)0571(代)　FAX：025(244)7563
金沢支店	〒920-0869 金沢市上堤町1番12号（金沢南町ビルディング7F） TEL：076(262)2401(代)　FAX：076(262)2442
松本支店	〒390-0811 松本市中央二丁目6番1号（住友生命松本ビル5F） TEL：0263(34)0511(代)　FAX：0263(34)0304
静岡支店	〒420-0857 静岡市葵区御幸町5番地9（静岡フコク生命ビル6F） TEL：054(272)0431(代)　FAX：054(272)0435
名古屋支店	〒460-0003 名古屋市中区錦二丁目2番2号（名古屋丸紅ビル6F） TEL：052(687)2461(代)　FAX：052(687)2462
京都支店	〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20番地 （四条烏丸FTスクエア3F） TEL：075(212)2332(代)　FAX：075(212)2960
大阪支店	〒541-0043 大阪市中央区高麗橋四丁目4番9号 （淀屋橋ダイビル6F） TEL：06(6201)2221(代)　FAX：06(6201)2441
神戸支店	〒650-0033 神戸市中央区江戸町95番地（井門神戸ビル11F） TEL：078(334)3530(代)　FAX：078(334)3534
広島支店	〒730-0032 広島市中区立町1番20号（NREG広島立町ビル9F） TEL：082(248)1981(代)　FAX：082(249)7263
高松支店	〒760-0018 高松市天神前10番1号（高松天神前ビル4F） TEL：087(863)5430(代)　FAX：087(863)5429
北九州支店	〒802-0003 北九州市小倉北区米町一丁目2番22号 （小倉NSビル5F） TEL：093(531)2401(代)　FAX：093(531)2475
福岡支店	〒810-0001 福岡市中央区天神二丁目8番49号 （ヒューリック福岡ビル8F） TEL：092(781)1100(代)　FAX：092(751)6211

● 海外現地法人

Fuyo General Lease（USA）Inc.
<NY Head Office>
733 Third Avenue, 18th Floor, New York, NY 10017, U.S.A.
Telephone:+1-212-867-1008 Facsimile:+1-212-867-5153
<LA Office>
21250 Hawthorne Blvd., Suite 700, Torrance CA 90503, U.S.A.
Telephone:+1-310-792-7404 Facsimile:+1-310-792-7405

Fuyo General Lease (HK) Limited
Room 1409, Admiralty Centre Tower I, 18 Harcourt Road, Admiralty, Hong Kong
Telephone:+852-2528-9863 Facsimile:+852-2528-6183

FGL Aircraft Ireland Limited
AIB International Centre, IFSC, Dublin 1, Ireland
Telephone:+353-(0)1-829-1802 Facsimile:+353-(0)1-670-1632

会社の概況（2011年3月31日現在）

- 商　　号　芙蓉総合リース株式会社
  Fuyo General Lease Co., Ltd.
- 本社所在地　東京都千代田区三崎町三丁目3番23号（ニチレイビル）
- 設　　立　1969年5月1日
- 資 本 金　10,532百万円
- 従業員数　連結1,403名、単体595名
- 役　　員　（2011年6月24日現在）

代表取締役会長	.....	小倉　利之
*代表取締役社長	.....	佐藤　隆
*専務取締役	.....	小原　久典
*専務取締役	.....	風間　省三
*常務取締役	.....	米田　俊三
*常務取締役	.....	相沢　慎哉
*常務取締役	.....	吉積　和織
取締役（社外取締役）	.....	南　直哉
常勤監査役	.....	鵜野　隆一
常勤監査役	.....	中嶋啓一郎
監査役（社外監査役）	.....	沼野　輝彦
監査役（社外監査役）	.....	石川　博一
監査役（社外監査役）	.....	杉田　義明
常務執行役員	.....	五月女隆男
常務執行役員	.....	藤田　義治
常務執行役員	.....	皆川　潔
常務執行役員	.....	今井　範夫
執行役員	.....	武部　頼明
執行役員	.....	冨川　満
執行役員	.....	棚橋　史博
執行役員	.....	山田　秀貴
執行役員	.....	篠原　清郎
執行役員	.....	荒川　信一
執行役員	.....	中村　孝
執行役員	.....	磯田　公夫
執行役員	.....	鈴木　照士
執行役員	.....	狩野　恭治
執行役員	.....	小島　照夫
執行役員	.....	加藤　勝朗

*の取締役は執行役員を兼務しております。

株式の状況（2011年3月31日現在）

- 発行可能株式総数　100,000,000株
- 発行済株式総数　30,287,810株
- 株　主　数　6,593名
- 大　株　主（上位10名）

株主名	所有株式数（千株）	出資比率（%）
ヒューリック株式会社	4,208	13.89
丸紅株式会社	2,477	8.18
明治安田生命保険相互会社	2,261	7.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,464	4.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,170	3.87
株式会社損害保険ジャパン	1,152	3.80
株式会社山武	1,000	3.30
株式会社みずほコーポレート銀行	907	3.00
資産管理サービス信託銀行株式会社（証券投資信託口）	568	1.88
東京海上日動火災保険株式会社	499	1.65

（注）1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
2. 比率は小数点第2位未満を四捨五入して表示しております。

株主構成

所有者別状況　合計:6,593名　30,287千株

- その他国内法人／112名 12,529千株／41.4%
- 金融機関・証券会社／66名 11,173千株／36.9%
- 外国人／153名 4,585千株／15.1%
- 個人・その他／6,262名 1,998千株／6.6%（自己名義を含む）

所有数別状況　合計:6,593名　30,287千株

- 5,000単元以上／9名 15,211千株／50.2%
- 1,000単元以上／54名 9,342千株／30.9%（自己名義を含む）
- 500単元以上／27名 1,915千株／6.3%
- 100単元以上／69名 1,869千株／6.2%
- 50単元以上／44名 300千株／1.0%
- 50単元未満／6,390名 1,648千株／5.4%

（注）1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
2. 比率は小数点第１位未満を四捨五入して表示しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当基準日	毎年3月31日 （中間配当を実施するときは9月30日）
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部

※住所変更等、当社株式に関する手続きについては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

※未払い配当金の支払い、支払明細等の発行に関する手続きまたは特別口座に記録された株式に関する手続きについては、みずほ信託銀行にお問い合わせください。

お問い合わせ先・郵便物送付先　〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社　証券代行部
TEL：0120-288-324（フリーダイヤル）

公告方法　電子公告
（電子公告掲載URL）
http://www.fgl.co.jp/IR/koukoku/koukoku.asp
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

ホームページとメール配信サービス、携帯IRサイトのご案内

芙蓉総合リースでは、パソコン用ホームページを開設するとともに、投資家の皆様への情報提供サービス拡充の一環として「IRメール配信サービス」も行っています。また、携帯電話でご覧いただけるIRサイトも開設していますから、ぜひご利用ください。

＜ホームページ・メール配信サービス＞

インターネット上にホームページを開設し、最新のニュースをはじめ企業情報やIR情報など、様々な情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

メール配信サービスは、配信登録していただくことにより、ニュースリリースやIR情報などを当社ホームページで更新した際に、電子メールでお知らせするサービスです。

配信をご希望される方は、当社ホームページの登録アイコンから登録手続きをお願いいたします。

ホームページアドレス：
http://www.fgl.co.jp/

＜携帯IRサイト＞

●アクセス方法1

携帯電話でURLを直接入力：
http://m-ir.jp/c/8424

●アクセス方法2

QRコードでアクセス
（QRコード対応のカメラ付き携帯電話では、上のQRコードで簡単にアクセスできます。）

※読み取り方法等、携帯電話の詳しい操作方法につきましては、ご利用中の携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

芙蓉総合リース株式会社

お問い合わせ先：〒101-8380 東京都千代田区三崎町三丁目3番23号（ニチレイビル）
TEL：03(5275)8800(代)　FAX：03(5275)8870